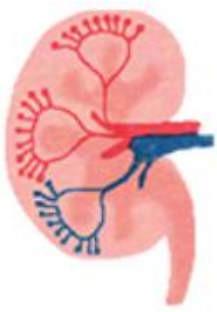


慢性腎臓病とは

IRIS分類	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
腎臓のモデル図				
残存腎機能	100～33%	33～25%	25～10%	10%未満
CRE値 犬	1.4未満	1.4～2.0	2.1～5.0	5.0以上
CRE値 猫	1.6未満	1.6～2.8	2.9～5.0	5.0以上
SDMA	14未満	14～25	25～45	45以上
UPC(尿蛋白指標)犬	非蛋白尿	0.2未満	0.2～0.5	0.5以上
UPC(尿蛋白指標)猫	非蛋白尿	0.2未満	0.2～0.4	0.4以上

《症状》

- ・ 食欲、元気の低下
 - ・ 体重減少
 - ・ よく水を飲み、薄いおしっこをする。
 - ・ 吐きやすくなる。
 - ・ 脱水
 - ・ 貧血
 - ・ 口臭が強くなる。等
- ※ステージⅡ以降から症状が現れ始めます。

《尿素窒素とは》

食事のタンパク質の分解過程で生じるアンモニアは体にとって有害なため、肝臓で尿素に変換されてから腎臓を経て尿として排泄されます。腎機能が低下すると排泄しきれなくなり血液中に戻ります。血液中の尿素を『**BUN**(尿素窒素)』と呼びます。BUNが高くなる高窒素血症(尿毒症)となり、胃腸障害や食欲低下をきたします。

《治療》

残念ながら腎臓の機能を取り戻すことは出来ません。体調の悪化に直結する高窒素血症に対しての治療や、残存機能なるべく長持ちさせるための治療です。

◆ 内服薬での治療

腎臓の血流を良くする血管拡張薬、高血圧に対する降圧剤、腸管内で窒素を吸着するための活性炭製剤、食事のリンを吸着するためのサプリメントなど様々なお薬があります。

◆ 点滴

腎機能が低下すると体に必要な水分を保持できず尿がたくさん出てしまうため脱水になります。

・ 静脈点滴…即効性がありますが入院が必要です。

・ 皮下点滴…背中 of 皮膚に点滴液を溜めて、半日～1日かけて吸収されます。

5～10分程度で終了するため入院が不要なほか、飼い主様が自宅で行うことも可能です。

◆ 造血剤

腎機能低下に伴い、腎臓から産生される造血ホルモンも低下することで貧血になります。

造血ホルモンを週1回注射で投与することで貧血を改善させます。

◆ 食事療法

尿素窒素の元であるタンパク質や腎臓にダメージを与え予後に関わるリンを制限した療法食が複数種類あります。低タンパク食はどうしても飽きられやすいので、ローテーションしてあげるのがポイントです。